

令和5年度 榎島ひいらぎこども園事業報告書

1 成果と課題（施設運営方針の実施状況）

（1）子どもを主体とした保育・教育の実践と環境整備及び保育者の育成⇒○

子ども一人ひとりの思いや気持ちに寄り添いながら、受け止めたり認めたりすることで、安心して自分の思いを表現し、過ごせる雰囲気づくりを大切にすることができたと思う。また、子どもたちの『やってみたい』や『〇〇がしたい』という言葉を拾いながら、実践につなげていける環境づくりができていたように思う。ただ、子どもの発達や興味関心には個人差があることや職員の意思疎通の不十分さから、課題は残る。特に、保育者の育成という観点では、伝えていくことの難しさを感じる。

（2）保育者の力量を高め、的確な保護者支援で、児童虐待の予防・啓発につなげる。⇒◎

送迎時における保護者とのコミュニケーションを中心に連絡ノートなども活用して、保護者の思いを把握し、信頼関係を築く努力を重ねてきたことで、不安定な家庭に対する支援を的確に行うことができていたと思う。また、学年だけでなく、管理職はじめ全職員が周知できるようにしてきたことは、虐待の防止・啓発に有効であったと思う。

（3）支援を必要とする子どもの教育・保育の充実⇒○

加配としての役割をしっかりと認識し、それぞれの子どもたちに寄り添い粘り強くかかわっていたと思う。また、関係機関との連携もしっかりとれたことは、保護者の思いを知る上でも有効であったと思う。ただ、加配が付いていないが支援を必要とする子については、十分に対応できていたかという課題が残る。

（4）保育教諭・栄養教諭・看護師の専門性を高める。⇒○

コロナが5類に引き下げられたことで、対面での研修に参加する機会が増え、様々な園の先生とお話する機会が持てたことはよい刺激となった。キャリアアップ研修への参加により専門性を高めることができたと感じる職員が多く見られた。研修等で得た知識や技能を園全体に伝達することが難しく感じる。

（5）国のガイドラインに沿った事故防止・健康安全対策及び災害対策を強化する。⇒○

毎月行われる保健安全委員会の場で、熱性けいれんやプールの安全管理といったタイムリーな内容が看護師をリーダーとして発信され、情報共有ができていていると思う。水害時の二次避難の問題については、未だ解決で来ていないことが課題である。

（6）栄養教諭・栄養士を中心に食育計画を進め、食育のさらなる充実を図る。⇒○

畑で収穫した作物を給食やクッキングに用いた活動により、野菜が苦手な子も楽しんでおいしく食す体験ができていたように思う。また、保護者の協力により年長組が1年を通して田植えから稲刈り・脱穀・炊飯といった「米」との関りを持つ体験ができたことは有意義であったと思う。ただ、乳児は、もう少し食材に触れる機会がもてるよう工夫が必要だと感じる。

2 年間教育・保育日数

1号認定 241日（年長は243日）

2・3号認定 290日（年長は291日）

3 利用者数

(1) 榎島ひいらぎこども園 在園児数

歳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	短時間	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	標準	8	9	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14
1歳	短時間	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	5	5
	標準	28	28	28	28	28	27	27	27	27	26	25	25
2歳	1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短時間	3	4	3	3	3	3	3	3	5	5	6	6
	標準	27	26	26	27	26	27	26	26	24	24	25	25
3歳	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	短時間	7	6	4	4	5	4	3	3	5	5	5	5
	標準	26	27	29	30	29	30	31	31	29	29	29	29
4歳	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
	短時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	標準	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	34	34
5歳	1号	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	短時間	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6	6	6
	標準	31	30	30	29	28	28	29	29	29	29	29	29
合計		184	185	188	188	188	188	188	188	187	187	187	187
定員充足率(%)		99	99	101	101	101	101	101	101	100	100	100	100

(2) 一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(人)	3	36	27	22	40	22	13	9	36	21	15	26
保育日数(日)	20	20	22	20	18	20	20	20	21	18	19	20
1日平均(人)	0.15	1.8	1.22	1.1	2.22	1.1	0.65	0.45	1.71	1.16	0.78	1.3
合計	270人(1日平均1.13人)											

(3) 子育てサポート事業

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一時預かり (人)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
園庭開放 (組)	5	6	0	0	1	3	2	0	1	2	2
計	5	6	0	0	2	3	2	0	1	2	2
総計	23組										

- ① 未就園児一時預かり（月1回土曜日）利用者数 2人
- ② 園庭開放（毎週火曜日）年間利用者数 23組
 - 遊びに来た際に、園内の見学を希望されることが多い。
 - 園庭に出ている在園児に交じって遊ぶ姿が見られる。
 - 子育てや発達の悩み、入園について相談されることもある。

4 職種別職員数（令和6年3月31日現在）

	園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	保育補助	看護師	栄養士	調理師・調理補助	警備員	事務員	保全員	ボランティア	合計
正規職員	1	1	1	1	24	0	1	2	0	0	0	0	0	31
パート職員	0	0	0	0	15	6	0	0	3	1	1	2	1	29
合計	1	1	1	1	39	6	1	2	3	1	1	2	1	60

（正規職員のうち1名が産休）

5 小学校との接続

(1) 連携行事の中止等

新型コロナウイルスが5類に引き下げられたのが、年度途中であったためか、入学式・卒園式等の儀式的行事の参列などは、交流の機会がなかったが、参観などは、少しずつ解禁されていったので、卒園した子どもたちの様子を見る機会が持てた。

(2) スムーズな就学に向けて

① 情報交換と共有

年長児においては、「教育相談」を受けた園児について、小学校の支援コーディネーターの先生と数回にわたり、情報交換する等してきた。これを基に、「普通級」「支援級」「支援学校」といった進路について、『支援シート』も活用しながら、保護者の意向を交え、その子一人一人に応じた学びの場所について、共に考える機会を持つこと

ができた。年度終わりに、就学先の各小学校と連携するための時間をとり、情報共有できた。

② 園だより・学校だよりでの情報共有（月1回）

卒園児の小学校での様子等を知ることができ、保護者との会話が弾む等の効果が得られ、大変有効であった。また、医療的ケア時が入学した小学校から、定期的に様子を知らせるお便りが届き、「作品展」を鑑賞させていただく機会もあった。

6 職員研修内容

(1) 園内研修

○日時 令和5年6月9日（金）13時15分～14時15分

講師 宇治消防署

内容 「救急救命講習」

受講者 保育教諭・看護師 11名



○日時 令和5年9月12日（金）13時30分～14時30分

内容 サブリーダー主催 研修

ひいらぎこども園で学んだ安田式運動遊びを実践

受講者 保育教諭 15名



○日時 令和5年2月19日（月）13時～14時

講師 宇治警察署

内容 不審者対応 講義・実技講習

受講者 保育教諭 19名



(2) 派遣研修（別添資料 槓2）

令和5年度 キャリアアップ研修修了者数 のべ12名

7 安全衛生委員会

議長	副園長	杉浦 京子
産業医	株式会社 Dr 健康経営・産業医	大森 直美
衛生管理者	園長 看護師	宇野 智子 木村 理恵
委員	主幹保育教諭	山本 容子

(1) 委員会 月1回会議開催（面談希望者無）

(2) ストレスチェックを実施

- ① 実施日 令和5年9月25日(金)～10月13日(金)
- ② 委託業社 株式会社職業性ストレスチェック実施センター (株式会社 Dr 健康経営委託)
- ③ 受検者 60名(正規職31名 非正規職員29名 受検率100%)
- ④ 結果

- 前年度と同様に産業医と連携業者によるは同委託業者によるストレスチェックであった。総合健康リスクは、92で全国平均を100とした値に比べ、8ポイント健康リスクが低下しており、去年と比べて7ポイント改善していた。内容的には「仕事の量的負担とコントロール」の評価は103で前年度と変化なく、「職場の支援」は89であり7ポイント改善していた。
- 雇用形態別で見ると、正規職員は昨年度より総合健康リスクは92と1ポイント改善し、非正規職員は90と20ポイントと大幅に改善した。正規職員の「職場の支援」が87と昨年度より3ポイント改善し、職場のサポート体制が良くなっていると感じている正規職員が増えた。
- 「乳児担当」「幼児担当」の業務分野別で見ると、乳児担当では114と昨年より5ポイント上昇し、「総合健康リスク」は113と5ポイント上昇している。幼児担当では「仕事の量コントロール」の項目で105と前年度と変化なく「職場の支援」73と23ポイント改善し、「総合健康リスク」も77と19ポイント改善した。
- 年代別で見ると、どの年代においても「仕事の質的負担」の値が高く、20代が107ポイントと高くなっていた。
- 「高ストレス」と判定されたのは7名(11.7%)で去年の5名(8.5%)に比べてやや増加している。
- 離職者は計7名で年度途中の離職者が2名(メンタル面の理由)、年度末での離職者は5名(全員自己都合の理由)であった。

⑤ 考察

「職場の支援度」が全体で大幅に改善しており、昨年度より実施している職場環境改善の成果が出ていると考えられる。環境調整としては、休憩室の面積を2倍に広げ、利用しやすい環境を整えた。年2回の面談の実施を行い、職員の思いを聴き取る場の提供により改善していると思われる。

高ストレス者については、前年度よりやや増加しているが、全国平均と比べると(全国平均14～15%程度)11.7%は高い数値ではないと思われる。メンタル休職後の復帰時に産業医面談を実施するなど、メンタルヘルスケアのラインによるケアは行えている。セルフケアへの知識・理解を促すため、職員向けのストレス教育を行い、セルフケア能力を高めていけるように働きかけていく必要がある。

⑥ 改善計画

- 取りたい時にできるだけ有休を消化し、年5日以上を確保する。また、土曜日出勤した場合は、協力し合いながら必ず振替休日を取得し、完全週2日制で休息の確保を促す。各自の年休消化状況をわかりやすく可視化する。
- 若い年代の職員をクラスリーダーに据え、責任とやりがいを感じ取れるよう担任配置を工夫する。
- 夕方の延長保育時間帯に引き続き正規職員1名を遅出当番の専属とし、他の正規職員

の遅出の当番の回数を減らして身体的負担を軽減する。

- 乳児・幼児全体を把握できるベテラン職員をフリーに置き、状況に応じて柔軟に対応できるようにする。
- 個別面談を年2回、維持する事で、職員の抱えている不安や要望を表出できる機会を確保し、働きやすい環境を整える。
- 全職員対象に、ストレスマネジメント研修を実施する。

8 保健室実績・感染症による欠席状況

(1) 病気早退延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	14	26	13	6	9	8	10	16	15	9	9	5	140
幼児	5	14	26	23	8	11	15	6	17	7	7	18	157
合計	19	40	39	29	17	19	25	22	32	16	16	23	297

(2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	1				6	1	4	2	22	9	12	26	83
水痘												2	2
流行性耳下腺炎													0
りんご病													0
手足口病													0
溶連菌感染症	1	3	6		1		3	1		1	2	1	19
A型肝炎感染症		3	3			1	1		3			1	12
RSウイルス感染症	1	6		1									8
ヘルパンギーナ			1	2		2							5
マイコプラズマ肺炎													0
ウイルス性胃腸炎													0
新型コロナウイルス感染症				3	4	4				12	4		23
合計	3	12	10	6	11	4	8	3	25	22	18	30	129

9 課外教室と参加者数

- (1) ジョニーのサッカースクール (講師 松下 洋亮氏)
(毎週水曜日 15:30~16:30 まで)
参加者：年中 8人 年長 11人
- (2) 空手道場 (講師 加藤 吉辰氏 加藤 映彦氏)
(毎週火曜日 15:30~16:30 まで)
参加者：年中 8人 年長 10人

10 実習・インターンシップ・ボランティア等

- (1) 保育実習
令和5年6月1日~14日 15~28日 佛教短期大学 1名
令和6年2月19日~3月2日 同志社女子大学 1名
- (2) 中学生職場体験
令和5年7月6~7日 宇治市立榎島中学校 2年生 3名
- (3) 高校生インターンシップ
令和5年7月24日~28日 京都府立久御山高等学校 1年生 2名
京都精華学園高校 3年生 1名 計 3名
- (4) 子育て支援員養成講座
基本研修 令和5年6月6日・8日 萬成
地域子育て支援員研修 令和5年12月19日・20日 萬成

11 地域との交流

グループホーム鳳凰榎島の代表者さんが来園され、入居者さん手作りの兜をいただいた。年長組は画用紙に折り紙で飾ったメッセージを手作りし、プレゼントした。



12 教育基金の活用

- (1) クリスマスプレゼントの配布
「教育基金」の中から、園児にクリスマスのプレゼントを配布。
プレゼントの内容については、各学年の担当が



選定する。

ただし、0歳～2歳児クラスについては、「絵本」とし、各学年の担任が選定した3冊の中から、予め保護者に選んでもらった本を用意している。

絵本を通して、親子で語り合う時間を持ってもらえればと思う。また、おうちの人に読んでもらう体験がいかに大切かを、この企画を通して伝えていきたいと考える。

しずく組 絵本の選書についてのお願い

今年のクリスマスプレゼントに絵本を考えています。そこで、以下の絵本の中から1冊選んでいただきたいと思います。発注の都合上 11月10日（金）までにお選びいただき、番号もしくは絵本の題名を連絡帳に書いて、お知らせください。

（もちろん これは 極秘プロジェクトです。こっそり お願いします。）



(2) 演劇鑑賞

令和6年1月9日（火）

人形劇屋たくたく堂（本拠地：宇治市）

「はしれちゅうちゅうでんしゃ」「にやあにやこにやんにやん」

10～ しずく・うみ・そら 10:30～ ちきゅう・たいよう・ぎんが
乳児・幼児に分かれて鑑賞



(3) 卒園記念品

卒園児を対象に、傘・鉛筆・ランチョンマットを配布

13 社会貢献

(1) 地域の運動広場の管理と運営（京都府所有の芝生広場の管理）

- 芝生の散水、除草、芝刈り、施肥、ゴミ等の清掃
- 地域住民への利用許可等、管理と運営



(2) 地域の避難所としての備蓄品保管

- 災害用トイレ、災害用毛布



16 1年を通しての取組例 《「おこめ」をテーマにした年長組の1年間の取組》

① 6月 たんぼで田植えを経験



② 6月 大型の機械による田植えを見学



③ 10月 鎌を使って実際に稲刈りを体験



*たわわに実った田んぼで かくれんぼや鬼ごっこを楽しむ



④ 10月 稲からとった粃を手動の機械で脱穀



⑤ 精米できたお米を飯盒で炊いて おにぎりにして食べる



【1年を通しての取組を振り返って】

これまでも、地域の方のご厚意により、田植えや稲刈りの様子を見せていただいていたが、今年度は、農業を営まれている保護者からのお声掛けで、実際に田んぼ一反を年間通して、貸していただき、田植えから稲刈りまでの工程を体験させていただいた。

今までの経験上、田植えはロープなどを通して、苗と苗の間隔などに注意して植えなければならず、年長といえども難しい作業であったが、今回は「自由に、好きなように植えていいよ」と言っていただけたので、子どもたちは広い田んぼの中を走り回りながら、好きなところに植えることができた。思うように足が動かなかったり（抜けなくなるなど）、にゆるにゆるの感触だったり、今までにない体感を楽しむことができた。足（足だけですまず 全身の子も多数）を洗うホースまで準備していただき、終始楽しむことができた。

秋には、刈り取りもさせていただき、一部を手動の精米機で精米し、残りは、本格的に精米していただいたものを、飯盒で炊き、おにぎりにしてみんなで食べるという格別の体験をした上に、お米を少しずつお土産としておうちに持って帰ることもできた。食卓を囲んで、お米に関する話で盛り上がったという声も聞かれた。すべて、保護者の方のご厚意があってできた取り組みで、お米の世話がほとんどできなかった（猛暑で田んぼまで行く機会が持てなかった）のは、心苦しい限りであったが、普段味わうことができないことを体験することができたことは、大変有意義であったと思うし、地域や保護者の支えがいかにありがたいかを再確認した。

14 苦情受付の状況

(1) 令和5年9月26日(火) 地域住民より入電

【内容】昨年と同じ方だと思われる方から入電。芝生広場で遊んでいる子どもたちがうるさい、小学生でなく中学生か高校生で、集会でもやっているようだ。あとマイクの声もうるさい（運動会の練習で音響・マイクを使用）川向こうの人も言っている。今遊んでいる子たちにとりあえず注意してほしい。という内容だった。

【対応】すぐに現場を確認しに行き、芝生で遊んでいた子、歩道で大声を出した子については声をかけた。（その子は謝っていた）団地のデッキスペースには20人くらいの中高生と思われる子たちが騒ぎながら遊んでいた。運動会練習については音量に気を付ける旨をお伝えした。

15 施設設備

(1) 玄関ホール うみ1・2くみ保育室 ワックスがけ

開園当初より杉の無垢材を使用していたが、経年劣化によるささくれが出始め、足にささる怪我があり危険だったためワックス仕上げに変更。

施行日 令和5年5月3日～5日

施行業者 第一製作所

事業費 950,000円

改修前



改修後





(2) くすのきひろば 日よけ

例年の猛暑により、市販のオーニングをつなげて日よけをしていたが、劣化が激しく、外用で広範囲をカバーできるものを作成していただいた。直射日光をさけることができ、ひろばで遊びやすくなった。

施工日 令和5年5月20日

施工業者 株式会社 近畿

事業費 752,400円

改修前



改修後



(3) 大型ファン（ミスト発生）購入（2台）

猛暑時のプール遊びや保育中、イベント時のクールダウンのため購入。

購入日 令和5年8月4日

購入業者 フレーベル

購入費 117,000円

購入日 令和5年8月21日

購入業者 フレーベル

購入費 90,000円



16 保護者アンケート

令和5年度 榎島ひいらぎこども園 アンケート結果

〈運動会〉

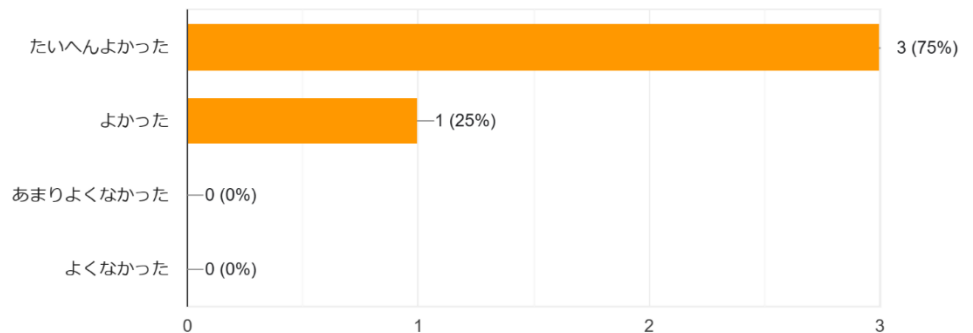
	回収率	たいへんよかった	よかった	あまりよくなかった	まったくよくなかった
しずく	80%	94%	6%	0	0
うみ	73%	76%	24%	0	0
そら	84%	85%	15%	0	0
ちきゅう	71%	86%	14%	0	0
たいよう	65%	75%	25%	0	0
ぎんが	68%	92%	8%	0	0
全体	74%	85%	15%	0	0

* グーグルフォームと紙ベースとの併用のため

〈作品展〉

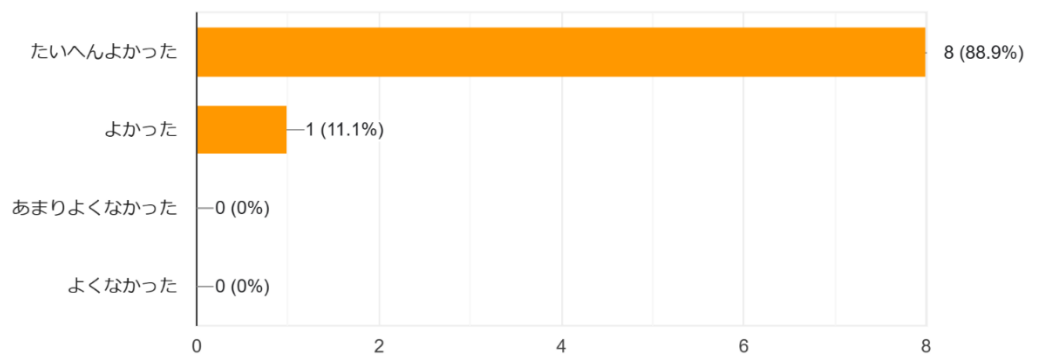
しずく(0歳児)

作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
4件の回答



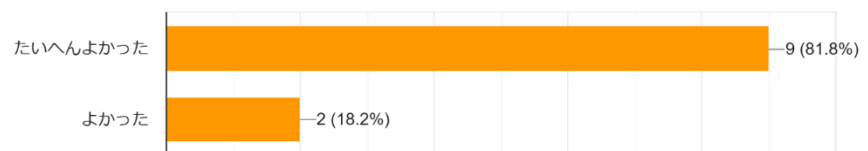
うみ(1歳児)

作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
9件の回答



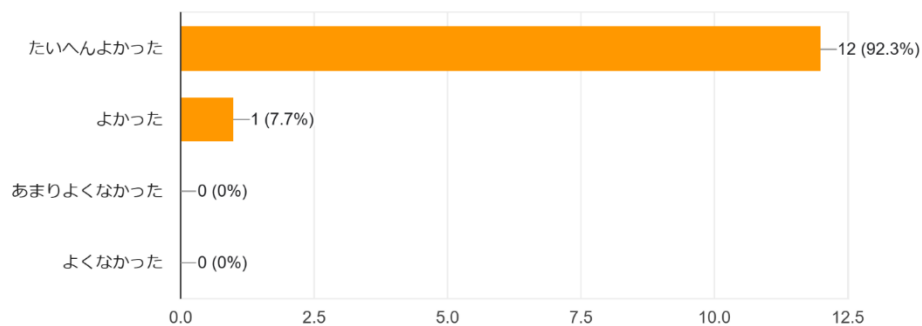
そら(2歳児)

作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
11件の回答



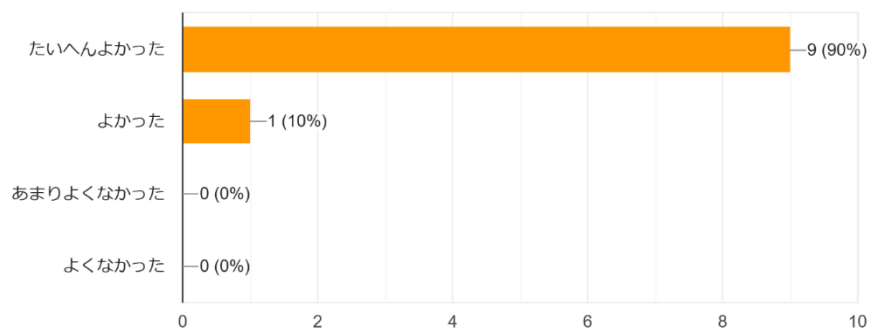
ちきゅう(3歳児)

作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
13件の回答



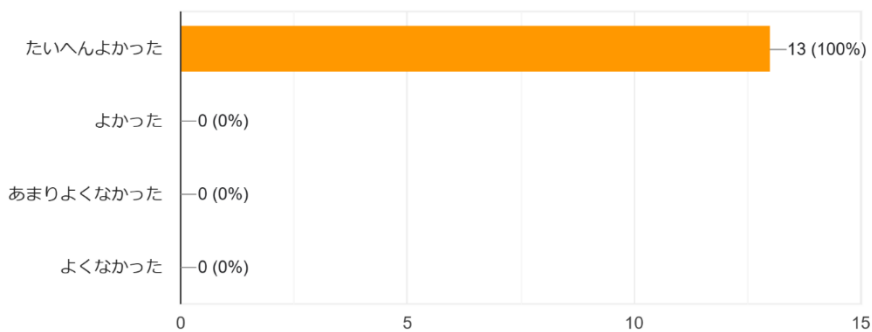
たいよう(4歳児)

作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
10件の回答



ぎんが(5歳児)

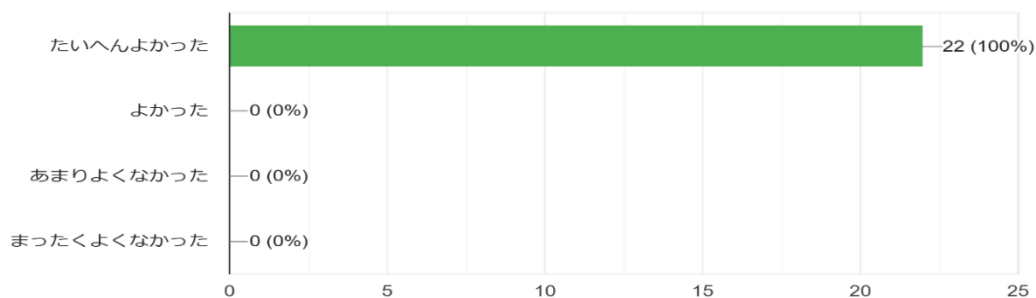
作品展の全体的な感想はいかがでしたか？
13件の回答



〈発表会〉

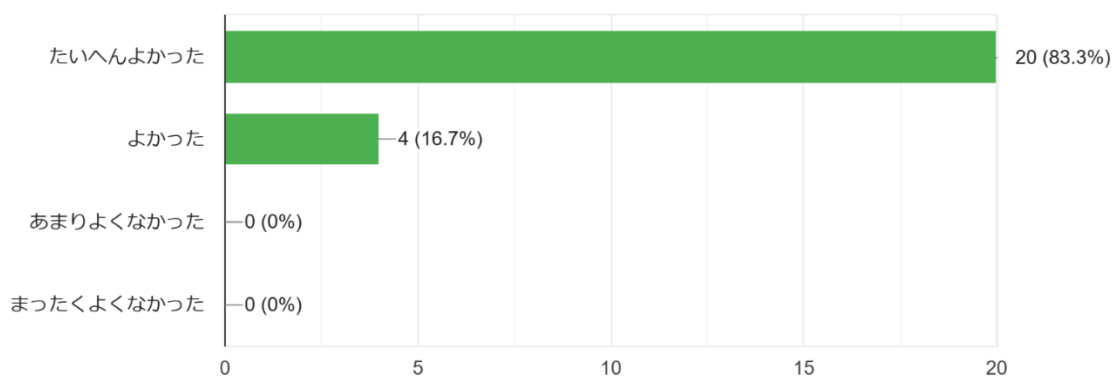
ちきゅう(3歳児)

発表会を見ていただいた全体的な印象はいかがだ...ち当てはまるところにチェックをしてください。
22件の回答



たいよう(4歳児)

発表会を見ていただいた全体的な印象はいかがだ...ち当てはまるところにチェックをしてください。
24件の回答



ぎんが(5歳児)

発表会を見ていただいた全体的な印象はいかがだ...ち当てはまるところにチェックをしてください。
23件の回答

